



5分で分かる今週の相場予想

# Markets This Week

5 minutes advice

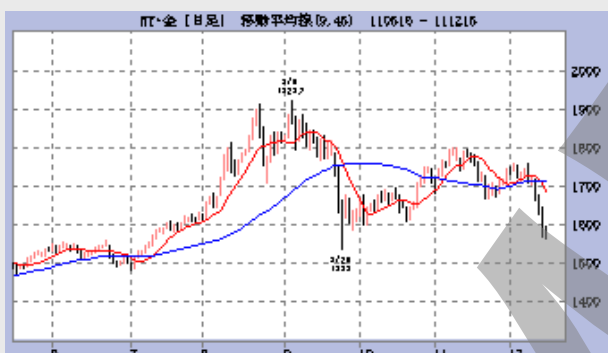
Powered by Fcomm

サンワード貿易株式会社

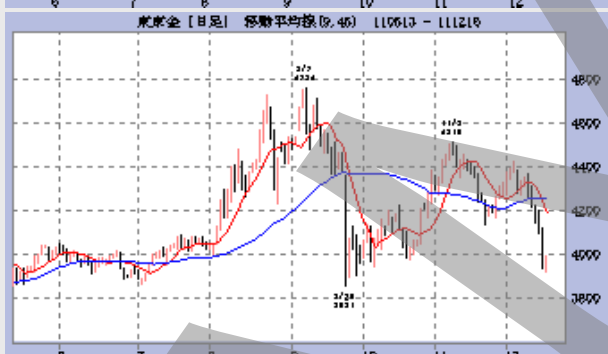
## Precious Metals

発行日 2011年12月19日 (金)

NY金チャート



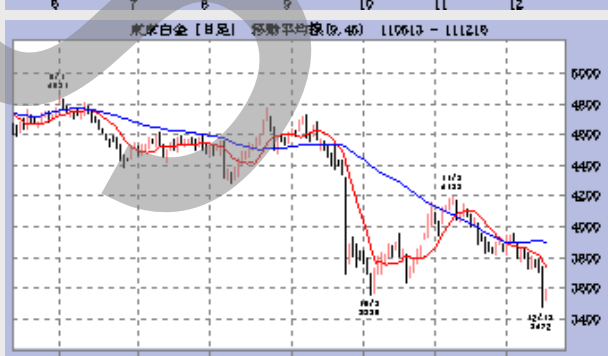
東京金チャート



NY白金チャート



東京白金チャート



【金】先週末の欧州首脳会議で教条主義的な結論しか出ず、金融不安を鎮める即効性のある対策は全く議論されなかった。ECBもドイツも各国の財務規律云々の議論がなされず、今金融機関がお互いに疑心暗鬼になっていることに対する手当が全くされなかった。そのため欧州の金融機関ばかりでなくCDSを多く販売している米国の金融機関の格付けも下がり、信用収縮は一層強くなっている。金融機関の信用収縮はそのまま企業の資金繰りにも影響を与えることになり、企業は借り入れが出来にくくなっているの、その分企業活動が縮小するものと思われる。そうした不安感や緊縮感が、多くの資産家に資産をリスク資産から引き出し、現金化する動きにつながった。それが株価や商品価格を下落させている。NY金は14日1600ドルを割り込み、4日連続の下げで1577ドルになっている。こうした動きは金ばかりでなく全ての商品の価格の背景にあるため、金だけでは論評できない。更に欧米ではクリスマス休暇入りしており、例年この時期は出来高が少なくなり、市場が閑散とするので、価格が大きく動きやすい。またこれから休暇を取るディーラーは金の場合は買い持ちを売り閉じる方が多いと思われる。ここ当分ラタイルな動きとなるだろうが、いずれ反転上昇するに違いないと思われる。

予想レンジ 1,550ドル~1,650ドル 東京金3900円~4400円

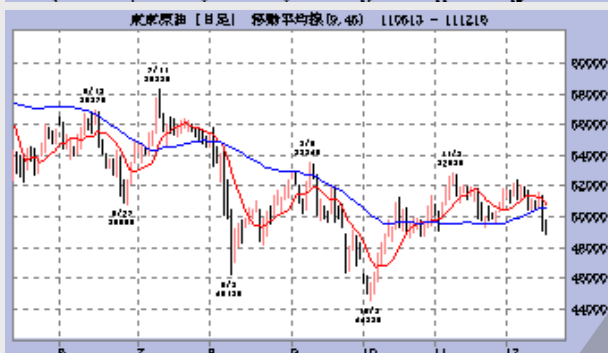
【プラチナ】プラチナの利用分野では、道路以外で使われるエンジンの排気ガス規制が欧米と日本で来年から厳しくなることが上げられる。農業機械や鉄道ディーゼル車両等である。まだその規模は明確ではなく、どのような排気ガス対策がとられるかわからないが、プラチナ触媒の新たな利用分野であることには間違いない。トヨタは東京自動車ショーで水素エンジン車を公表した。同社によれば、2015年までに商業化するという。米バード車は、燃料電池の大型バスをカリフォルニアパームスプリングのバス会社に納入し、環境対策車としてPRしている。韓国現代自動車は、燃料電池車をデンマークとノルウェイで公表した。1回の充電で最高時速160キロ、525キロ走行できるという。11月の欧州の新車登録台数は前年同月比 3.5%で103万台だった。11カ月の累計では1215万台で前年比 1.4%。ドイツは+2.6%だったが英国 4.2%、フランス 9.2%、スペイン 7.7%、イタリア 9.2%だった。予想レンジNYプラチナ1300ドル~1400ドル東京プラチナ3300円~3500円

## Oil

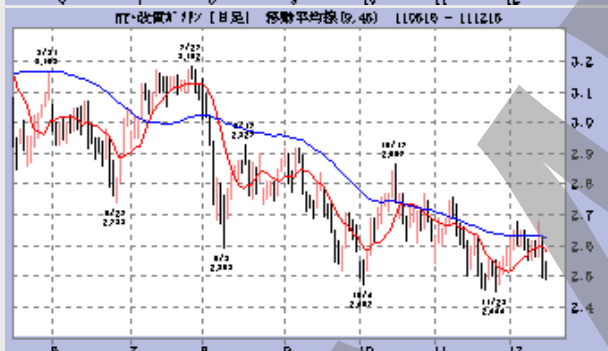
NY原油チャート



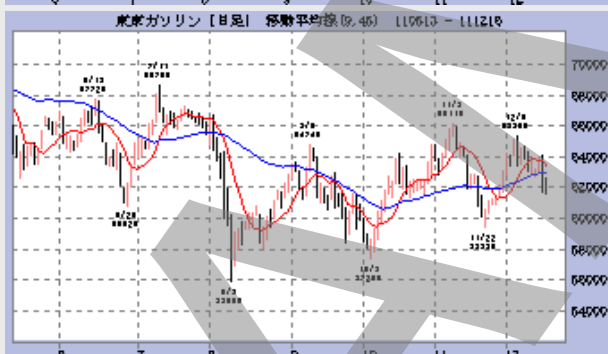
東京原油チャート



NYガソリンチャート



東京ガソリンチャート



【原油】13日には100ドルを超えていたNY原油破15日には93.87ドルと7ドル近くも下落した。欧州債務危機から連想される消費の後退が価格に影響したものと思われる。強気の要因としてはイラン情勢があり、イランから原油を買う国の銀行とは米国の銀行取引が制限されるという米国のイラン経済制裁第二弾により、多くの国がイランからの原油購入を躊躇せざるを得なくなっている。オバマ大統領は議会の決定にもかかわらず柔軟な姿勢を示すのではないかと期待されているが未だわからない。日本は1月～9月までの原油輸入量のうち9.2%がイランからの輸入量である。弱気の要因はサウジアラビアが日量1000万バレル以上の増産を行っていることである。需給的には供給過剰な状態にあり、リビアの復旧に伴い、どこかが減産しなければ供給過剰状態が一層拡大する。欧州は、2050年には原油依存度が現在の43%から16%に減少し、その分再生可能エネルギーが増加して現在の11%から61%に拡大すると大胆なエネルギー予測を出した。このペースで再生エネルギーが増加すれば、原油需要は先進国ではますます縮小傾向になるだろう。予想レンジNY原油93ドル～100ドル、東京原油価格45000円～52000円

【ガソリン】NYガソリンは11月24日に2.444ドルを付けているが、15日は2.487ドルまで下がった。米国のガソリン出荷量は、過去5年平均 3.7%であるが、徐々に5年平均に近付いてはいる。しかし、まだ明らかな需要回復とは言えない状況である。12月9日の週はガソリン在庫が382万バレルも大幅に増え、価格下落の端緒となった。石油連盟から公表された12月10日時点の日本の石油精製設備稼働率は90.8%で前週に比べて2.6%の増加となっている。ガソリンは前週対比で増産され、在庫も増加しているが年末年始で消費が活発化するため備蓄しているとみられる。灯油も寒波の本格化とともに前週対比で増産されている。このため在庫は減少せず増加して354万KL台となっている。前年を84万KL上回っている。出荷も順調であるがそれ以上に増産されている。日本においてもまだ石油製品需要が回復しているとは言い難い。予想レンジ NY改質ガソリン2.45ドル～2.6ドル、東京ガソリン60000円～63000円

## Rubber

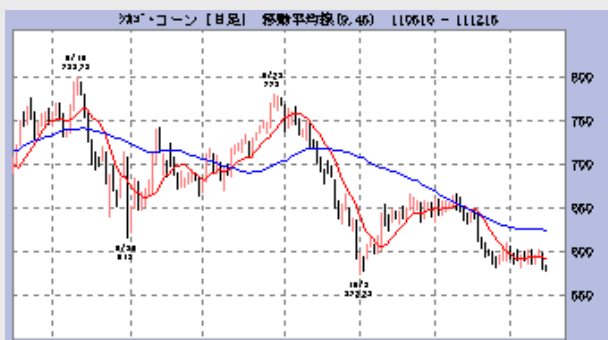
東京天然ゴムチャート



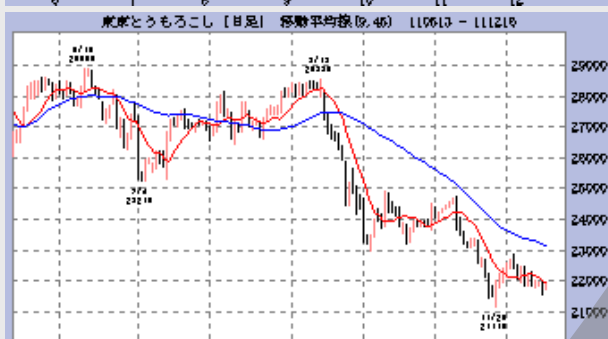
【天然ゴム】日本自動車タイヤ工業会によれば、日本の自動車生産台数は、2010年～12年で923万台、830万台、958万台というようにV字型に回復すると予測しており、それに合わせて四輪車用タイヤ需要も4688万本、4011万本、4626万本と回復するという。これの通りなら、来年は日本のゴム需要は昨年並みに回復するということであり、250円に迫った東京ゴム価格は来年は300円を超えると予測しても良いと思われる。つまり今が底値の形成時期で、まだ底を脱出するほどの勢いは無いとしても、来春にかけて上値を追う展開となる可能性がある。欧州危機が中国等に大きな影響を及ぼさないことが前提ではあるが、予想レンジ260円～300円

Grain

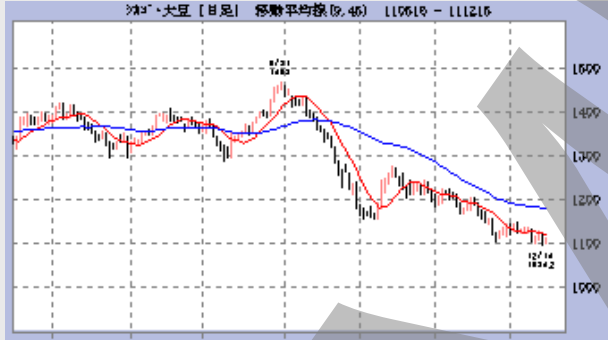
シカゴコーンチャート



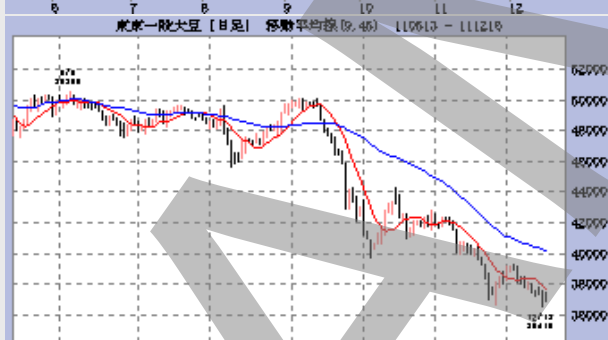
東京コーンチャート



シカゴ大豆チャート



東京一般大豆チャート

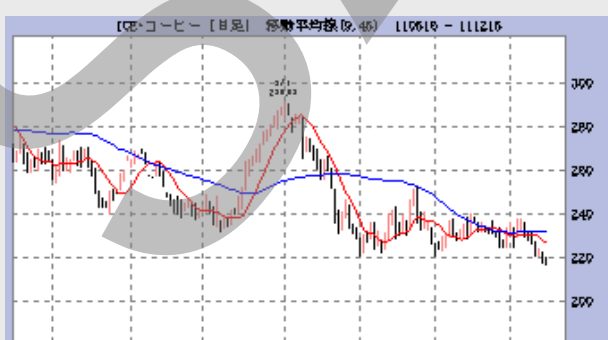


【トウモロコシ】シカゴコーン価格も他の商品の下落に煽られて下落したが、その幅は小さかった。すでにかなり下げているからであろう。8月末の779セントからすれば、15日の579セントは、200セント安の25%強の値下がりである。そろそろ反発してもおかしくない。12月の需給報告では需要は5月より7億5千万ブッシェル 5.6%減少しており、昨年から比べると6億4千万ブッシェル 4.8%減である。それほど需要が減る要因はどこになるのか疑いたくなる。確かに米国産トウモロコシの輸出成約状況は昨年より悪いが、中国は昨年の3倍購入しており、今後も不足するものと思われる。春先には輸出が復旧し、トウモロコシ価格は上昇するのではないかと考えている。予想レンジシカゴコーン580セント~620セント。

【大豆】シカゴ大豆も8月31日の1465セントから14日は1094.2セントと370.8セント約25.3%の下落となっている。従ってこのところの商品安にも拘わらず横ばいから少し上昇している。12月の需給報告では需要は5月に比べて2億6500万ブッシェル 8%減、昨年から比べても2億2500万ブッシェル 6.9%減である。大豆は中国からの引き合いが少なく、キャンセルが出ているが、搾油マージンが低下して割りに合わなくなっているためと思われる。しかし、シカゴ価格がここまで下がればそろそろ買い出しもおかしくない。トウモロコシ同様、大豆も春先には上昇するのではないだろうか。予想レンジ シカゴ大豆 1100セント~1200セント  
東京一般大豆 36000円~40000円

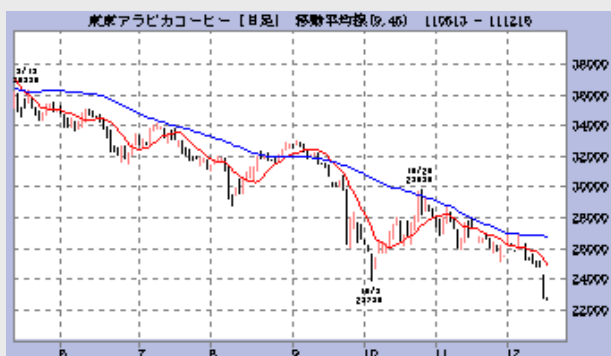
Coffee

NYコーヒーチャート



【アラビカコーヒー】NYコーヒー価格は下値抵抗線であった220セントを軽々と割りこんだ。2010年のコーヒー生産量は1億3314万袋であったが、ブラジルの裏年に相当する2011年は1億2860万袋に454万袋減少する。しかし、来年は表年になるので、生産は元に戻ると思われる。去年は若干の供給不足であり、今年は生産が減った分更に供給不足に陥っている可能性があるが、それでも在庫は1830万袋あるので、タイト感それほど感じない。次の抵抗線は200セントであるが、ファンダメンタル的には更に下落してもおかしくない。

## 東京アラビカコーヒーチャート

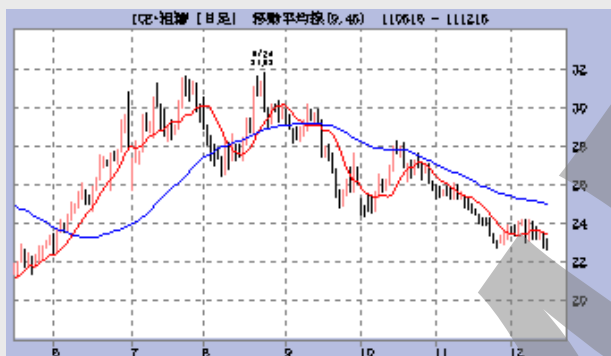


## 【アラビカコーヒー】

予想レンジ NYコーヒー215セント~225セント、  
東京アラビカコーヒー20000円~25000円

## Sugar

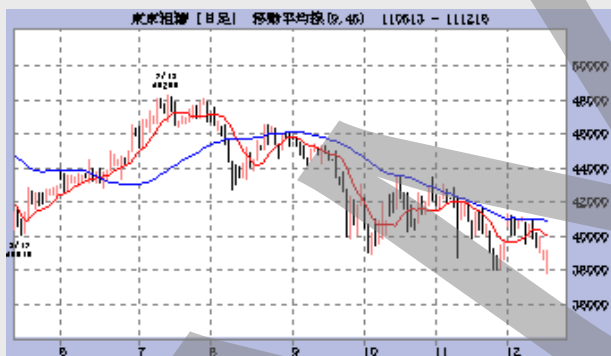
## NY砂糖チャート



【砂糖】多くの商品価格が下落する中で、NY砂糖は23セントの下値抵抗線をあっさり割り込み、6月初め以来の安値を更新した。直近の安値あっさりとを下げ、明日以降テクニカルな売りも加わって一気に22セントを割り込む展開になることも十分に考えられる状況となってきた。需給面でもインドやロシア、欧州などの増産によって世界市場が大幅な供給過剰に陥るといった弱気の構図に大きな変化は見られていない。この先割安感が高まることで現物市場での需要が強まっていくシナリオには注意すべきだが、相場の流れを変えてしまうに至るまでには、まだ数ヶ月は掛かるだろう。それまでに一時的にせよ20セントの節目を割り込む可能性は、かなり高いのではないだろうか。

予想レンジNY砂糖22セント~23セント、東京粗糖  
36500円~38500円

## 東京粗糖チャート



掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMI」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMIは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMIおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス  
〒103-0014東京都中央区日本橋蛸設町1丁目11-3-310  
会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692  
メールアドレス： kondo@commi.cc  
ホームページ： <http://commi.cc/>